財政危機理由に

# 母子・父子家庭の（わずかな）入学祝い金廃止、（なのに）副市長二人に増やし給与合わせて年1800万円

## 3月市議会を傍聴した　山﨑かずひろさんに聞きました

――感想は？

討論を聞き、平戸の問題、市民の願いを知ることができました。

――予算は？

学校給食費の滞納、05年度955万円、06年度880万円。「滞納」は平戸でも貧困や格差がひろがっていることを表していると思います。

くらしがきびしいときの予算議会。くらしを応援する提案を期待しました。しかし、負担を求める提案ばかりで残念でした。

――たとえば？

「ひとり親世帯入学祝い金制度」の廃止。母子・父子家庭のお子さんが小・中学校に入学するときの「祝い金」（左表）です。市役所で話を聞きました。06年度五千円、95世帯。07年度3千円、76世帯。廃止ではなく、増額すべきです。

――「財政危機」で仕方ない？

議案をもうひとつ紹介します。「副市長の給与を年898万円に」です。4月から副市長は2人、合わせて1800万円。「祝い金」廃止で削減できるのは25万円です。

――自治体のあり方として？

「地方自治法」の冒頭には自治体の仕事は「住民の福祉の増進を図ることを基本」にする、とあります。平戸市政も、市民本位であるべきだ、と思います。

議会にはおよそ70の議案が提出されましたが、全て、全議員の賛成で承認されました。「議会のチェック機能」にも問題があるのではないでしょうか。

――「市政」、もっと注目しなければなりませんね。

そう思います。私も、もっと勉強して、市民のみなさんの願いや要求をどんどん議会に届けていきたいと思います。

ひとり親世帯入学祝い金受け取り状況

| 年度 | 小学校入学 | 中学校入学 | 合　計 | 県入学祝い金 | 市入学祝い金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 2003 | 12世帯 | 12世帯 | 24世帯 | 祝い品 | 5000円 |
| 2004 | 18世帯 | 29世帯 | 47世帯 | 祝い品 | 5000円 |
| 2005 | 18世帯 | 20世帯 | 38世帯 | 祝い品 | 5000円 |
| 2006 | 40世帯 | 55世帯 | 95世帯 | 祝い品 | 5000円 |
| 2007 | 32世帯 | 44世帯 | 76世帯 | 祝い品 | 3000円 |

住民こそ主人公です。
議会のチェック機能は
とても大切です。

## 九州・沖縄から赤嶺さん、田村さんを国会へ

日本共産党衆議院議員
**赤嶺政賢**

日本共産党九州・沖縄
国政対策委員長
**田村貴昭**

制度解説

**衆院比例代表選挙は政党名で投票します**